



中野区立緑野中学校 学校便り

探求・創造・共生

令和4年3月16日（水） 発行

第11号

「校歌が歌えなくても」

校長 齊藤 久

今年度も残念ながら感染症対策のため合唱コンクールが中止となりました。1年生は3月11日（金）2年生は3月14日（月）3学年は3月10日（木）各学年ごとに体育館で指揮伴奏発表会を開催しました。一生懸命にタクトを振る指揮者の姿を見て、そしてピアノ伴奏の心地よい音色を聞きながら生徒達はどんなことを思ったのでしょうか？「来年度こそはクラスの皆んなと合唱したい。1日でも早く大きな声で歌いたい。」そう思ってくれたならば嬉しく思います。本校の合唱コンクールは10月末に『なかのゼロホール』の大ホールで開催されてきました。スポットライトを浴びて大きな舞台に立つことは子供達にとって貴重な経験です。来年度こそは学校に生徒の歌声が戻り、合唱コンクールの開催ができますことを心より願います。

学校に生徒の歌声が聞こえなくなって2年が過ぎます。1，2年生は入学してから校歌はほとんど歌ったことがありません。3年生は1年生の頃に歌ってから2年が過ぎました。忘れかけている人がいるかも知れません。**本校の校歌は、未来を生きる中学生への応援歌**です。リズムカルで歌詞が覚えやすくとても歌いやすい校歌になっています。体育館に掲げられている校歌の掲示物には、作詞作曲の篠清弘先生の横に**協力「統合委員会」**とあります。第六中と第十一中学校の関係者が協力して新しく開校する中学校は良い中学校にしたいとの願いが伝わってきます。本校の校歌で私が好きなフレーズは1番「愛する母校、誇りは永久（とわ）に～♪」2番「愛する母校、誉れは永久（とわ）に～♪」愛する母校である六中と十一中は統合して歴史が閉じてしまうけれども、母校を愛する気持ちは緑野中学校へと永久に引き継がれてほしい、**緑野中学校も母校として愛される学校になってほしい**、そのような願いが込められていると解釈しています。

感染症対策を講じて3月18日（金）第14回卒業式を挙行政いたします。

卒業生138名にとって明るい未来が待っていることを信じ、**校歌は歌えないとしても、校歌に込められた願いをエールに代えて、愛する母校から送り出したい**と思います。

校歌

作詞作曲 篠 清弘
協力 統合委員会

一、緑が萌える 中野の大地

希望の空に 勇気はあつく

心を磨き 健やかに

瞳の中に 未来を映す

理想は高く 堂々と

愛する母校 誇りは永久に

緑野中学校

二、遙かに望む 美しい富士

朝陽を浴びて きらめき放つ

友との絆 大切に

重ねる努力 未来へつなぐ

大志の学び 悠々と

愛する母校 誉れは永久に

緑野中学校

愛する母校 誉れは永久に

緑野中学校

「コロナ禍で得た感動」

中野区立緑野中学校 3年

私は中学校初めての体育祭で、先輩の応援合戦に感動しました。そして、二年生になったら応援団に立候補しようと考えていました。しかし、新型コロナウイルス感染症対策で、学校が臨時休業になってしまいました。

先生は学習動画を、グーグルクラスルームを使って配信してくれましたが、私にとって学校は、皆と授業を受けたり、生活したりする場所と考えているため、学校に行きたくても行けないという辛い日々を過ごしました。

学校が再開し、学年での体育大会が開催されましたが、初めての体育祭で感じた感動はありませんでした。三年生になり、体育祭が実施されることになりましたが、また中止になるのではないかと、学年での実施に変更されてしまうのだろうか、不安な気持ちでいっぱいでした。

そんな風に私が悶々としていると、友人が「お前応援団やりたかったんだよな。一緒にやろうぜ。」と声をかけてくれました。私はもう一度仲間とともに頑張ることを決意しました。

応援団の練習が始まり、順調に振り付けや応援歌を決めていくことができました。しかし、初めての団全体での練習で、応援団でない人に、振り付けや歌詞を教えているときにまじめにやらない人や、やり方が分からなくなって投げやりになっている人などがいました。以前の私であればくじけていたかもしれません。ですが、私には、信頼できる仲間たちがいました。仲間を支えられ最後まで諦めないで頑張ることができました。

練習を重ねていくと、少しずつ、真面目にやる人が増えて、本番直前までには、私たちが理想としていた完璧な演技ができるようになっていました。

そして、本番では練習でやった演技よりも、迫力があるカッコいい演技をすることができました。あの時、くじけていた私に、声をかけてくれた友人には、心から感謝しています。

高校に進むと、様々な中学校から生徒が集まります。新型コロナウイルス感染症対策は中学校より、予防対策がさらに強くなると聞いています。コロナとの戦いはいつ終わるかわからない状況ですが、中学校での経験を生かして、高校に入っても仲間と協力して物事に取り組んで行きます。また、後輩の皆さんには緑野中の良い伝統を更に高めていってほしいと思っています。

2年生 スキー移動教室

3月4日（金）5日（土）湯ノ丸スキー場で講習を受けました。

「筋肉痛」

スキー教室から帰宅した翌日は塾のテストが朝早くからあった。当然消しゴムを使うわけだが、それを
持ち紙をこすった瞬間、上腕から手首にかけ強い鈍痛がのしかかったのだ。原因は一つ、二日間にわたった
スキー教室だ。そのとき筋肉痛の重さを痛いほど実感した。

今回のスキー教室でのスキーは私にとって人生初の経験であった。だから、スキー板の滑りやすさも、
気を抜けばすぐに転んでしまうことも、体力がたぐさんいることも、何も知らなかったのだ。

それ故に板を靴に付けた途端、近くの溝へズルズルと落ちる。這い上がろうとしても雪は柔らかく動け
ば動くほど下に沈むのだ。「谷と山に直角に」とインストラクターの松浦さんが言っていることを思い出
し自分なりに体勢を整えたが、結局自力で上がれず人の手を借りて起こしてもらった。このときに感じた
屈辱と悔しさは、後に私のスキー上達の燃料となった。そこからは松浦さんの動きやその特徴を自分なり
に解析し、失敗したテクニックをできるようにしたり、それでもダメだったら積極的に質問をして、なん
とか班の中でも上手な方になった。一日目の最後にはもう緩い坂を転倒せずに下りれるようになった。そ
こからは絶好調でできることが増えていった。二日目の午後にはリフトに乗って2kmほどのコースを移
動できるほど上達したのだ。最後には松浦さんから褒めていただき、達成感を
感じた。きっと諦めなかったのがよかったのだ。途中で、もう嫌だと思いそ
うになったことも確かにあった。それこそ惨めだと気づき、絶対にできるよう
になると、元々は弱いはずの根性で踏ん張った。我ながらよく頑張った。

結果、この筋肉痛。それはスキー教室から三日間続いた。二日間、全力で
スキーに取り組んだことこそ、今回の行事の一番の思い出である。

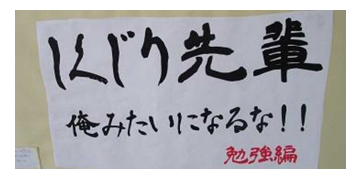
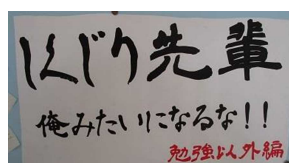


1年生 薬物乱用防止教室

3月4日（金）に中野ライオンズク
ラブの方を講師に講義を受けまし
た。



3年生 しくじり先輩からのメッセージ



校内書初め展の表彰